

ナベヅル



- 全長：約 100 cm
- 世界の推定個体数：約 14,000～16,000 羽
- 越冬期間：10月～3月

●繁殖地：ロシア・中国・モンゴル

●越冬地：日本・韓国・中国

●レッドリストカテゴリー：IUCN（国際自然保護連合）VU / 環境省 絶滅危惧Ⅱ類

●越冬地での主な食物：落ち穂、昆虫、小型の水生物

●生態：主に稲刈り後の水田に渡来。家族（2～4羽）ごと、もしくは小規模な群れで行動。夜は浅い水辺で立って寝る。

マナヅル



- 全長：約 127 cm
- 世界の推定個体数：約 6,000～7,000 羽
- 越冬期間：11月～2月

ナベヅル、マナヅルがよく見られる地域

※これらの地域以外にもツル類が飛来する場合があります。



★注意★

ツルと間違いやすい鳥
アオサギ



写真：掛下尚一郎

全長：93cm

各地の水辺や田んぼで見られ、首や足が長くツルに似ているが、ひとまわり小さい。ツルと違い、飛ぶときに首を縮める。

いずみ
鹿児島県出水地方での保護活動により、現在個体数は増加していますが、世界のナベヅルの約 8～9 割、マナヅルの約 5 割が出水に集中しているため、重篤な感染症が発生した場合に、種が絶滅してしまう恐れがあります。そのため、越冬環境を復元させ、かつてのようにツルが各地で暮らせるようにする必要があります。